

地域密着型金融への取組み状況

(取組み期間：平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

はじめに

当金庫では、地域密着型金融の取組みについて、平成 15 年 4 月以降、2 次 4 年に亘る「金融再生プログラム」、「金融重点強化プログラム」を着実に遂行し、平成 19 年 4 月からは、地域密着型金融の取組みを恒久的な取組みと位置づけ、地域の情報集積を活用した地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた事業再生への取組み、地域活性化につながる多様なサービスの提供等、地域との共存共栄を目指してまいりました。

平成 21 年 4 月からの取組みにおいても、きめ細かい対面営業の展開と地域の各方面との連携強化、会員の皆様との信頼関係の強化、内部体制の整備と金融機能の発揮を推進してまいりました。

今後も引き続き、当金庫が持つ「つなぐ力」を発揮し、「地域密着型金融の取組み」を深化させ、更なる地域金融の円滑化、お客様への利便性・満足度の向上、信頼される健全経営の確保等に努めてまいります。

21 年度の取組み状況を以下の通り報告させていただきます。

・地域密着型金融推進に関する基本的取組み

- ・新たに策定した「地域密着型金融推進計画(平成 21 年 4 月～平成 23 年 3 月)」の取組み項目や推進態勢を踏まえて、地域密着型金融推進に取り組んでまいりました。

・21 年度の取組み重点事項と実績

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の一層の強化への取組み

(1) 創業・新事業支援の取組み

新分野進出または事業転換を図る企業に対し、創業支援や新事業支援に取り組みました。

ベンチャー企業の育成や取引先企業の株式上場を支援するため、業界関連企業のしんきんキャピタルに加え、東京中小企業投資育成(株)の関連ファンドであるDITファンドへ投資するとともに、新規分野進出企業、事業基盤拡充の資本充実や資本政策の実施が必要な企業を支援するため、名古屋中小企業投資育成(株)と提携し、企業の経営支援態勢を図っております。

(2) 事業再生・経営改善支援の取組み

経営改善計画書を策定し、経営改善に取り組んでいる当金庫取引先企業に対し、経営改善計画の進捗状況および今後の改善について年3回、役員会付議会議を実施し、協議・改善の助言を行なう等、事業再生に取り組む、経営改善に効果を上げました。

中小企業再生支援協議会を活用した当金庫取引先の事業再生支援の強化を図るため、営業店長を対象に富山県中小企業再生支援協議会より講師を招き、「企業再生支援セミナー」を実施いたしました。

事業再生に取り組む専門の支援機構と連携・協調して、当金庫取引先企業の金融円滑化対策に応じ事業再生計画策定の支援に取り組みました。

(3) 事業承継支援の取組み

生産・品質等の技術面でのノウハウの提供や財務面のアドバイス・経営相談等の充実を図るため(株)パナソニック電工創研(16年5月締結)等のほか、都築公認会計士とコンサルティング業務契約を締結(19年7月)し、当金庫職員による事業承継等への提言・助言能力の向上に努め、当金庫取引先へ提言しております。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底への取組み

(1) 事業価値を見極める「目利き機能」発揮の取組み

企業の経営・財務相談に助言・提言できる能力や企業の将来性・技術力を的確に評価できる目利き能力を身に付けて、中小企業金融の円滑化に対応できる人材育成のため、当金庫職員を対象に、宮田吉弘氏(税理士)を講師に招き「平成21年度税制改正講座」の開催、当金庫各専門職員をインストラクターとした「債権管理回収講座」、「融資審査セミナー」の実施をいたしました。

中小企業診断士の国家資格を取得するために当金庫職員を中小企業大学校養成課程へ派遣いたしました。

(2)担保・保証に過度に依存しない融資等、中小企業に適した資金供給手法の徹底の取組み

不動産担保に過度に依存しないため、当金庫独自の動産担保融資「たかしん機械担保ローン」、流動資産担保融資保証制度による売掛金担保融資、譲渡担保を活用した事業運転資金の取組みを推進しました。

企業のすぐれた技術力や将来性を業績向上に繋げるため、資金供給手段の多様化をご提言し、当金庫が業務提携している投資育成専門機関を紹介、連携強化をはかり、当金庫取引先の資本充実に取組みました。

取引先企業に応じた資金供給手法の徹底に取り組む中で、ご返済条件変更等のご相談を受けた場合は、「金融円滑化に関する基本方針」に遵い、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて、きめ細かく対応しました。

3. 地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献への取組み

(1)地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

北陸地区信用金庫協会主催による「しんきんビジネスフェア 2009」への当金庫取引先の出展を通し、取引先の技術ノウハウの売り込みや販路拡大の支援をいたしました。

省エネ・省 Co₂ による新分野進出、ビジネスチャンス及び環境対策・コスト削減メリット等が企業の発展や地域の活性化に繋がり、地域に根ざす信用金庫として金融機能等の役割を通じて積極的に支援するため、北陸電力高岡支社から河本浩一氏(支社長)、老田朗氏(営業課長)を講師に招き、「地球環境に配慮した Co₂ 排出量削減および省エネ・省コスト化」をテーマにして、営業店長を対象にセミナーを実施いたしました。

(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供

「内外景気の現状と今後の見通し」と題して、嶋中雄二氏(三菱UFJ証券(株)景気循環研究所長)を講師に講演会を開催いたしました。

「太陽光発電の現状と今後の展望」と題して、^{フチガミ} 淵上巖氏(株)京セラソーラーコーポレーション常務)を講師に講演会を開催いたしました。

会計・税務の専門家として中小企業を支援している北陸税理士会と意見交換会を開催いたしました。意見交換会では、より具体的・

実効的な中小企業支援に取り組むため、中小企業支援における互いの役割と活動について理解を深め、連携強化をはかりました。

4．お客様の利便性・満足度の向上への取り組み

- (1) 万が一の時にご家族の安心を守る商品として、21年2月2日から7月31日まで発売いたしました傷害保険付定期積金「安心たまる君」を、好評により再発売(9月1日~1月29日)いたしました。
- (2) 原令子氏(社会保険労務士)を招き、「おもしろ年金セミナー」を開催するとともに、個別年金相談者171名様を対象に年金に関する相談事に応じました。
- (3) 「高岡開町400年」を祝して、金利優遇定期預金を期間限定(10月1日~1月29日)で発売いたしました。
- (4) 当金庫職員による不祥事件の防止対策として、無作為抽出5万先のお取引先について「お取引残高通知書」を送付いたしました。今後も引き続き、年1回不定期に「お取引残高通知書」を送付いたします。
- (5) 中小企業者や個人のお客様の資金繰りや返済等のご相談にきめ細やかな対応を行い、金融の円滑化を図るため、21年12月より全営業店に「ご返済相談窓口」を設置し、12月12日(土)・19日(土)・26日(土)には6ヶ店(本店及び福岡・和田・大島・富山・砺波の各支店)で「ご返済相談窓口」を休日に開催いたしました。
- (6) 個人のお客様のご利用中の住宅ローンの返済内容見直しのご相談、各種資金ニーズのご相談・お申込みなどにお応えするため、22年3月7日(日)・14日(日)に全営業店で「休日ローン相談会」を開催いたしました。相談会開催に併せて、住宅ローンご利用先への直接の訪問やダイレクトメールの送付、新聞社へのニュースリリース、新聞チラシの折込、当金庫ホームページ掲載等により、お客様の要望に応えられる態勢をとり、これに取り組みました。

5．経営の透明性の確保への取り組み

- (1) 法定ディスクロージャー誌を年1回発刊(同時にホームページに公表)し、店頭に備え置いております。また、ミニディスクロージャー誌を年2回発刊(同時にホームページに公表)し、当金庫取引先へ配布及び懇親会の集りや視察旅行等の機会に配布し、当金庫の経営状況をお知らせしております。
- (2) 総代会に関する適切なディスクロージャーについて、総代会の制度、総代の任期・定数・選任方法、総代会の決議事項等、詳細に情報を開示しております。

．平成 21 年度通期「地域密着型金融推進」に係る主要計数の取組み実績

1．ライフサイクルに応じた支援強化の取組み実績

(21 年度通期計数に基づく)

主要計数項目	平成 21 年度通期実績
経営改善支援取組み率 (1)	19.8%
再生計画策定率 (2)	100.0%
ランクアップ率 (3)	0.5%
創業・新事業支援融資実績 (件数・金額)	11 件・81 百万円

(1) 経営改善支援取組み率(19.8%)

= 正常先除く経営改善支援取組み先数(189 先) ÷ 正常先除く期初債務者数(953 先)

(2) 再生計画策定率(100.0%)

= 正常先除く再生計画策定先数(189 先) ÷ 正常先除く経営改善支援取組み先数(189 先)

(3) ランクアップ率(0.5%)

= 正常先除くランクアップ先数(1 先) ÷ 正常先除く経営改善支援取組み先数(189 先)

2．個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績

(中小企業に適した資金供給手法の徹底)

(21 年度通期計数に基づく)

主要計数項目	平成 21 年度通期実績
動産・債権譲渡担保融資実績 (件数・金額)	3 件・111 百万円
財務制限条項活用融資 (件数・金額)	0 件・ 0 百万円

以 上

・数値目標と実績

「地域密着型金融推進計画」の期間中に主要計数の取組みのほか、達成すべき業績水準として、以下の目標を設定し努力してまいりました。

項 目	平成 23 年 3 月末目標 (21 年度 ~ 22 年度中)	平成 22 年 3 月末実績
コア業務純益	1,451 百万円	1,457 百万円
経常利益	783 百万円	466 百万円
R O E	6 % 台	4.16 %
O H R	70 %	64.87 %
自己資本比率	10 % 台	10.12 %
不良債権比率	4 % 台	5.30 %
事業再生支援取組み先数	230 先	249 先
支援先の債務者区分上昇先数	20 先	1 先
支援先の格付上昇先数	50 先	19 先
要注意先債務者区分ランクアップ支援取組み先数	200 先	234 先
要注意先債務者区分上昇先数	10 先	1 先
コンサルティング提携企業数	10 先	5 先
新規開業支援企業数	20 先	10 先
新規分野進出支援企業数	20 先	1 先
私募債取扱企業数	2 先	1 先
シンジケートローン取扱企業数	5 先	0 先

以 上